

だいせん市議会だより

あなたのギカイ

令和6年5月1日 第76号 3月定例会の内容を分かりやすくお伝えします。



代表監査委員を4年間勤め、
退任あいさつをする武田哲也氏

6 枝父 博樹

梶野 利憲

CONTENTS

- 市政懇談会の開催について…………… P 2
- こんなことが決まりました…………… P 3
- 聞いてみたいなこんなこと…………… P 8
- 行政視察報告…………… P12
- きかせて！あなたのミライ…………… P14

会場：大曲庁舎本会議場（3月15日第1回定例会最終日）

市政懇談会を開催します

市民の皆さまと自由に意見交換する市政懇談会を、次の日程で開催します。

「より開かれた議会」を目指し、市政の諸課題に柔軟に対処するための、市政全般にわたって情報および意見を交換することや議会の活動状況を報告します。

どちらの会場でもご参加いただけますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



【お問い合わせ】 議会事務局 Ⅸ(63) 1111(内線303)

開催日	会場	時間
6月24日(月)	大綱交流館 (刈和野字愛宕下24-1)	午前10時～
	協和支所 (協和境字野田4)	午後1時30分～
6月25日(火)	神岡農村環境改善センター (神宮寺字下川原前開100)	午前10時～
	南外コミュニティセンター (南外字下袋218)	午後1時30分～
6月26日(水)	内小友公民館 (内小友字仙北屋68-2)	午前10時～
	角間川公民館 (角間川町字四上町1)	午後1時30分～
6月27日(木)	さくまる館 (高梨字田茂木10)	午前10時～
	おおたコミュニティプラザ (太田町横沢字窪関南501)	午後1時30分～
6月28日(金)	四ツ屋公民館 (四ツ屋字西下瀬162-4)	午前10時～
	中仙農村環境改善センター (北長野字茶畑141)	午後1時30分～
6月29日(土)	サンクエスト大曲 (大曲日の出町1丁目23-3)	午後1時30分～

特集 ギカイのじぶんと

「教育厚生常任委員会って、どんなじぶんと？」

Q1 教育厚生常任委員会はどこを所管しているの？

A 市民部、健康福祉部、こども未来部、教育委員会事務局、市立大曲病院の所管に属する事項の審査を行います。なお、こども未来部は、こども施策の着実な推進のため、令和6年度から新たに設置されました。

Q2 所管事務調査とは？

A 常任委員会は、委員会が所管している事務を調査する機能を有しており、この委員会固有の権限に基づき、自主的に調査を行い、議案の審査や市に対して政策の提案を行います。委員会では、定例会閉会中も調査を行っており、その調査内容は議員全員協議会で報告しています。



所管事務調査の様子
施設職員等の意見を聴き、市政の現状を把握しています。

Q3 行政視察とは？

A 議員が他自治体等の先進的な取り組みをしている地域へ外出し、その地域の行政・経済・文化等の実情を直接把握することです。議会の活動には、議案の是非を検討し、その可否を決するというだけでなく、行政の施策等について提言し、市民の利益のためにその実現を図っていくという積極的な姿勢が求められています。行政の適正な運営を確保するためには、高度で専門的な見識が必要とされており、議員活動をする上で必要かつ有益であることから実施しています。令和5年度に実施した各常任委員会および議会運営委員会の行政視察については、12ページと13ページに掲載しています。

第1回定例会 議案審議

大仙市の

こんなことが決まりました。

第1回定例会 会期23日間 2月22日～3月15日



第1回定例会

第1回定例会

専決処分報告	1件
人事案	33件
条例案	19件
単行案	5件
補正予算案	10件
当初予算案	19件
陳情	3件

今号では
この中から
5つを **Pick up**

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



〈議案第22号〉大仙市コスモス奨学基金条例の制定について

Pick up 1
市独自の給付型奨学金を支給するため、奨学基金を新たに設置します。

経済的理由により大学等における修学に困難がある者に対し、寄附金を財源として給付型奨学金を支給するため、新たに「大仙市コスモス奨学基金」を設置します。

こんな質問が出ました。

Q 寄附金を財源とした給付型奨学金制度も新たに設けるとのことだが、制度運用の将来的な見通しはどう考えているのか。

A 返済の必要のない給付型の奨学金に比べてほしいと毎年1千万円の寄附の申し出をいただいている。寄附金を原資とした給付型の奨学金の制度設計に当たっては、奨学金を申請した学生が卒業までの期間、確実に奨学金が受け取れるよう進めている。

Q これまで利用されてきた奨学金制度との併用はできるのか。

A 国による給付型奨学金制度および市が行う貸与型奨学金制度との併用はできないが、その他団体による奨学金制度との併用は可能である。



Pick up 2

地域が一体となつて取り組む「彩色千輪プロジェクト事業」を実施します。

各地域において、拠点を活用した地域活性化事業を実施します。令和6年度の事業概要は次のとおりです。

地域名	拠点名	事業概要
大曲	はなび・アム	地域の魅力紹介と周遊を促す取り組みを継続。新たにぎわい創出策を見出すフィールドワークを開催。
神岡	道の駅かみおか	道の駅で地域作品展・情報発信事業を実施するほか、拠点の新たな活用として長沼自然観察会を開催。
西仙北	大綱交流館	若者や女性を対象としたワークショップイベント開催のほか、地元中・高生と連携した取り組みを実施。
中仙	道の駅なかせん	道の駅の特徴づくりと「ドンパン娘」キャラクターロゴを活用した取り組みを実施。
協和	和ピア	「体験・学習・あそび・交流」をコンセプトに、地域住民が企画・運営する各種体験型事業を実施。
南外	南外ふるさと館 南外民俗資料交流館 南外さいかい市	3拠点の魅力づくりと合同イベントの開催。新たに地域の偉人を顕彰する取り組みを実施。
仙北	仙北かれあい公園	周辺地域の恒常的な賑わいを創出するため、屋外読書ゾーン整備などにぎわい創出事業を実施。
太田	横沢公園エリア	「花と緑のまち」を体感できる体験型イベントの開催とリピーター確保の取り組みを実施。

こんな質問が出ました。

Q 彩色千輪プロジェクトについては、より地域の特色を生かした事業を展開されたいと思うが、いかがか。

A 地域の主体性に基づき実施する事業であり、地域協議会をはじめ、活性化を担う地域の団体等と、今後協議をしてみたい。



「彩色千輪」は、色とりどりの小花が一齐に開く花火
※八つの地域がそれぞれ活性化することで、市全体が活性化することを花火でイメージ

Pick up 3

地域おこし協力隊の任用を引き続き行い、だいせんLaboの相談体制や周知の強化を行います。

令和5年10月から地域おこし協力隊を任用し、だいせんLaboでの起業の相談対応等を実施していましたが、令和6年度も引き続き地域おこし協力隊を任用し、だいせんLaboの周知徹底とサポート窓口としての体制強化を推進します。

こんな質問が出ました。

Q 事業内容や実績のほか、相談にいられた方々の具体的な事例等を踏まえ、さらなる情報発信が必要ではないか。

A より多くの方々に、だいせんLaboが備えている機能を認知していただき、活用してもらえよう、さらなる周知、PRに力を入れてまいります。

■だいせんLaboの利用状況

項目	R5	R4	前年度比 (R5/R4)
延相談件数	155	135	115%
実相談件数	41	47	87%
来訪者数	397	603	66%

※R5は、12月末時点
※前年度比は、R4を基準にR5の進捗状況を表したもの

Pickup 4

成人軽度・中等度難聴者への補聴器購入費の助成を新たに実施します。

聴覚障がいによる身体障害者手帳の交付対象とならない18歳以上の軽度・中等度難聴者に対して、聞こえづらさなどの日常生活における不便の解消と、経済的負担を軽減するため、補聴器購入経費の一部を助成します。

こんな質問が出ました。

Q 成人軽度・中等度難聴者補聴器購入費助成事業を開始することのことが、助成を受けるに当たっての留意事項はあるのか。

A 申請に当たっては、医師の意見書を必須としている。医師の所見をもとに補聴器販売業者が調整を行うことで、利用者の聴覚レベルにより適合した補聴器を購入できると考えている。申請手続き等については、市の広報紙等で広く周知してまいりたいと考えている。



Pickup 5

新たに農業用ドローンの資格取得に対する支援を行います。

大仙市「農業と食」に関する活性化構想のアクションプランに基づき、スマート農業を推進するため、新たに農業用ドローンの資格取得に係る経費の補助を行います。

こんな質問が出ました。

Q 対象者を経営面積が30ヘクタール以上でかつ農業法人に絞り込んだ理由と補助内容は上限5万で当該年度2名までだが、1法人につき2名までという解釈でいいのか。また、個人でも受委託をしながらやっている方もいる。個人であっても対象としても良いのではないか。

A 大規模農業法人等が今後の担い手の中心になると考えており、導入の効果の観点から、受託面積を含め30ヘクタール以上の面積設定をした。受託面積の増加により防除作業の効率化が図られ、事業推進にもつながるとも考えている。また、一般的に免許取得には20万円ほどかかるようだが、金額にかかわらず、一律5万円を交付し、補助金の申請が偏らないよう最低限必要な人数として、1申請者当たり、当該年度2名までとした。個人で実施している方については、実績を見た上で、今後検討してまいりたい。



令和6年度予算案をチエック 当初予算質疑



本会議4日目の予算質疑では3名の議員が当初予算について、質疑を行いました。主な質疑の内容を紹介します。

令和6年度会計別当初予算

(単位:千円)

会計名		令和5年度 当初予算額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	比較 (B)-(A)	
一般会計		44,716,000	46,407,800	1,691,800	
特別会計	国民健康保険事業	8,579,647	8,525,059	-54,588	
	後期高齢者医療	1,069,995	1,139,140	69,145	
	学校給食事業	1,051,360	1,153,699	102,339	
	奨学資金	25,199	21,175	-4,024	
	企業団地整備事業	1,610	393,121	391,511	
	スキー場事業	48,704	41,737	-6,967	
	太陽光発電事業	118,369	136,267	17,898	
	小水力発電事業	2,000	2,000	0	
	財産区(6地区)	16,423	7,826	-8,597	
企業会計	市立大曲病院事業	収益的支出	932,554	979,141	46,587
		資本的支出	311,375	160,590	-150,785
	上水道事業	収益的支出	841,667	828,886	-12,781
		資本的支出	370,476	540,745	170,269
	簡易水道事業	収益的支出	1,128,064	1,127,267	-797
		資本的支出	1,044,352	884,856	-159,496
	下水道事業	収益的支出	2,829,725	2,815,268	-14,457
		資本的支出	2,325,017	2,414,152	89,135
一般会計+特別会計+企業会計(収益的支出・資本的支出)		65,412,537	67,578,729	2,166,192	

佐藤 隆盛議員(市民クラブ)

◇地域振興事業費(地域枠予算)について

Q 地域枠予算が5991万9千円と、令和5年度と比較し913万8千円の減額となっているが、その理由は何か。

A 令和6年度当初予算は、これまでの事業実績を勘案したところであり、また、市が実施する事業のうち、生涯学習事業や地域の環境整備など、他の分野や目的が主となっている事業については、市全体の予算計上方法に倣い、目的別の予算科目に移管・分類するとともに、事業の在り方について見直しを加えるなどの対応を行った結果、前年度から減額となっている。年度途中に新たな申請や規模の拡充などにより、予算が不足する場合には、補正予算等により対応することとしている。

安達 成年議員(大地の会)

◇大仙市観光物産協会補助金について

Q 事業に対しての補助ではなく、人件費に対する補助となっているが、その理由は何か。

A 協会の事業運営は、市の補助金や受託金、協会会員の会費のほか、特産品のPR、販売等による収入により成り立っており、職員の雇用については、協会単独での維持は

金谷 道男議員(大地の会)

◇地域交通対策事業費について

困難な状況となっている。市では、非営利法人の性格や、本市の観光物産振興を設立目的にしている高い公益性、専門的なノウハウを有する職員の維持・確保などの観点から、市の補助が必要と判断し、人件費のうち職員給料および福利厚生費の10分の10相当を支援している。

Q のりのりきっぷの交付対象者数、申請者数、交付件数、使用実数などのこれまでの推移はどうなっているのか。

A 令和2年度は、75歳以上の交付対象者数が1万6730人、申請・交付件数は同数の8645人、免許返納者の申請は905人で、9097万5千円分を交付し、5419万7600円が使用されている。3年度は、交付対象者数が1万776人、申請・交付件数が9012人、免許返納者の申請は1054人で、5033万円分を交付し、3210万6900円が使用されている。4年度は、交付対象者数が1万7360人、申請・交付件数が7016人、免許返納者の申請は984人で、4800万円分を交付し、3283万7300円が使用されている。

討論

第1回定例会で討論された内容を紹介します。

議案第37号「令和6年度大仙市一般会計予算」に対し、次のような意見がありました。

反対討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

国は住民サービスの向上につながるものであれば、デジタル化そのものには反対するものではないが、今の岸田政権のデジタル化は、行政システムの標準化や健康保険証の一体化をはじめとするマイナンバーカードと行政サービスとの野放図なひも付け拡大を推進し、民間企業へ情報漏えいがこれまで以上に危惧されるとともに、大企業のもうけの材料になっていると思えないことから、本予算に反対するものである。

賛成討論

安達 成年 議員（大地の会）

30億の財政調整基金が確保されており、限られた財源を効率的にバランスよく配分し、市民の負担に応える予算編成であると感じる。県内どの市を見ても、大仙市以上に子育てに対して重点的に進めている市はほかにないくらいの施策が盛り込まれている。また、予算配分の約3割以上を占める六つの重点施策には、昨年以上の期待を寄せており、市が目指す地域の隅々まで元気なまちの実現には、大いに期待できる。

陳情第35号「あきたこまちRについての陳情書」および陳情第39号「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書」に対し、次のような意見がありました。

反対討論

秩父 博樹 議員（公明党）

今のままでは、県内の多くの地域で、稲の穂が出てくる時期に長期間、田んぼに水を入れ続ける必要がある。また、海外ではさらに厳しいカドミウムの基準を設定している国もあることから、今後、その基準に合わせて国内基準がより厳しくなっても対応できるよう、あきたこまちRへの切り替えが必要である。東北一の米生産地である大仙市としても、海外への販路拡大に向け、全面切り替えは必要な農業政策であると考ええる。

賛成討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

あきたこまちRの導入と全面切り替えの方針が公表されて以降、県内外から県に対し、6000件以上に及ぶ批判や意見が寄せられている。これは、あきたこまちR導入と全面切り替え方針の決定に至る過程で、生産者や消費者不在のまま進められてきたということにある。全面切り替え方針を延期や見直ししてほしいという陳情内容は当然のことであり、ぜひとも採択すべきものと考ええる。

令和6年第1回定例会 賛否一覧

議案等名	議決結果	大地の会					だいせんの会					新政会			公明党		市民クラブ		日本共産党						
		鎌田正	金谷道男	大山利吉	佐藤育男	後藤健	山谷喜元	安達成年	青柳友哉	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	石塚柏	橋村誠	高橋徳久	戸嶋貴美子	渡邊秀俊	小松栄治	小笠原昌作	橋本琢史	本間輝男	秩父博樹	挽野利恵	佐藤隆盛	佐藤文子
議案第37号 令和6年度大仙市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情第35号 あきたこまちRについての陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○
陳情第39号 「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○

賛成者は○、反対者は●、欠席者は「欠」とします。議長は採決に加わりません。

聞いてみたいな

こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関わる内容がありますか？

質問議員 7人 質問項目 12件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

小中校の統合について

Q 小中校の統廃合は、4名の市議会議員の方々が一般質問をされている。統廃合の議論は、相当煮詰まったし、十分に機は熟したのではないか。統廃合に必要な児童数の推定数が国土技術政策総合研究所で今年の4月に

出るが、このデータで太田、中仙、仙北、大曲西、大曲南の中学校区の統廃合計画を再度、検討を願いたい。

A 統廃合の計画は、少子化が想定を超えるスピードで進んでいることやICTの活用など子どもを取り巻く環境が大きく変化していることから「大仙市学校再編庁内検討会議」を設置し、全庁体制で議論を進めている。また、「大仙市学校施設長寿命化計画」も踏まえながら検討する。

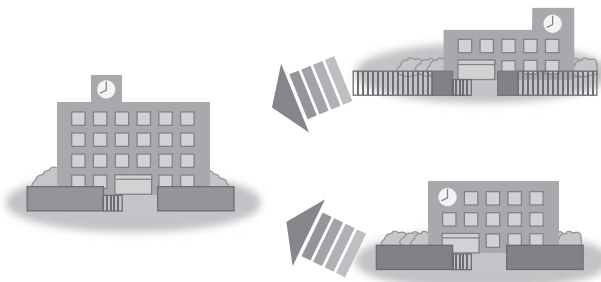


石塚 柏 (だいせんの会)



Q 小中一貫教育は、いじめや不登校の「中一ギャップの抑制」と言われているが。

A 小中一貫教育は、注目しなければならぬので、検討会議でその視点も入れて協議していく。



非常時への備えについて

Q 避難所に指定されている小・中学校は何校あるのか。また、耐震化済みとなっているのか。

A 避難所に指定されている小・中学校の数は、小学校19校、中学校10校、合計29校であり、全て耐震化済みである。

Q 小・中学校の空調設備の設置については、令和6年から令和7年の間、国庫補助の割合が引き上げられる。これを活用し、避難所となる体育館の空調設置を進めるべきではないのか。

A 避難所となる小・中学校体育館の空調設置は、避難所の機能強化を図る上で検討すべき事項と捉えている。国からの補助要件として、すでに体育館の断熱性が完備されている、あるいは空調設備と合わせて断熱工事を行うことが必須となっており、多額の財政負担が見込まれる。また、小・中学校の普通教室へのエアコン



秩父 博樹
(公明党)



設置は完了しているものの、理科室などの特別教室へのエアコン設置がまだであることや、校舎の老朽化に伴う整備の課題もあることから、その優先順位も含めて検討したい。

このほか、外国人材の受け入れと多文化共生社会の実現について、子どもを被害者にも加害者にもさせないアプリの活用について質問しました。



災害時に避難所となる体育館

空き家対策について

Q 市内の空き家は何件あり、倒壊の危険性が高い「危険空き家」は何件あるのか。

A 空き家は1165件あり、そのうち53件を危険空き家と認定している。

Q 令和5年12月の法改正を踏まえ、「大仙市空き家等対策計画」の見直しを行うべきではないのか。

A 法改正となった空家等対策の推進に関する特別措置法で定義された「管理不全空き家」の所有者には、以前から適正管理に関する通知を発送し、管理の改善を促している。ただ、管理不全空き家に対する固定資産税の住宅用地特例の解除は、新たに計画や条例等において明記が必要であるため、今後、見直しや改正を行っていく。



橋本 琢史
(新国会)



Q 空き家バンク制度が始まったから登録された空き家の件数と、そのうち契約された件数、また、この制度を利用して県外から移住してきた世帯数は。

A 令和6年2月末までに50件の空き家が登録され、契約された空き家は41件である。また、県外の方と契約された空き家は7件、7世帯である。



大仙市誕生20周年記念事業 について



大山 利吉
(大地の会)



Q 前例にとらわれることなく心に深く刻まれるような記念事業を企画できないか。

A 来年の合併記念日に向け、市全体の機運を高める「機運醸成」に係る取り組み、市勢発展にご尽力いただいた皆さまを表彰する「記念式典」、市全体で20周年の節目を祝い、市民の皆さま一人一人がまちづくりに関心を持ち、参画する機運を高める「関連事業」、20周年記念事業の記憶を紡ぐ「アフターイベント」の四つの取り組みを柱に、「20周年メモリアルイヤー」と銘打ち、令和6年度から7年度にかけて記念事業を展開してまいりたい。関連事業は、多くの市民の皆さまに20周年の節目を実感していただけるよう、各地域で開催される文化祭や花火大会、身近な行祭事などを中



大仙市誕生10周年記念式典で初お披露目となった「まるびちゃん」(平成27年3月22日)

心に、地域協議会や実行委員会をはじめとした皆さまとの共創により、20周年記念を冠した事業を企画・実施するなど、これまでにはない新たな取り組みも念頭に、市民の皆さまの印象に残る事業を検討していく。

このほか、公共施設の再編と再編後の施設の活用と整備について、高齢者や障がい者に配慮した公共施設のきめ細やかなバリアフリー化について質問しました。

あきたこまちRについて



佐藤 文子
(日本共産党)



Q マンガン不足による「こま葉枯れ病」への対策や、それに対する農家負担など、

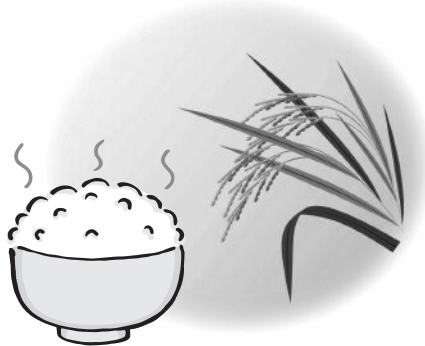
Q マンガンの成分抑制による食味低下が考えられるが、見解を伺う。

根拠を示した説明を尽くして、生産者の作付け品種の選択権を尊重するべきと考

A 外観、味、香り、硬さ、粘りとも従来のあきたこまちと同等であることが示されているが、経年的な評価については、今後進められるものと思っている。

A ごま葉枯れ病については、育苗箱粒剤にいちもち病とごま葉枯れ病に効果のある農薬があり、従来の箱粒剤との価格差はほぼないものと伺っている。

従来のあきたこまの種子の選択については、県としては、全面切り替えとしながらも、他県産の種子の購入や自家採種での対応も可能とし、従来のあきたこまの作付けを妨げるものではないとしている。



相次ぐ特殊詐欺被害について



小笠原昌作
(新公会)



Q 特殊詐欺等による被害者が増加している。何よりも巻き込まれないことが大事だが、手口が巧妙化している。未然防止に向けた市の取り組み、対策は。

を通じた働きかけを行っていく。あわせて、高齢者が集まる介護予防事業の場などでも啓発の強化を図るとともに、防犯協会などとも連携し、ATMやコンビニにおける対策も強化し、一層の特殊詐欺被害防止に取り組んでいく。

A FMはなびや商業施設の電光掲示板を活用した注意喚起のほか、出前講座や特殊詐欺の講話などの各種事業、高齢者世帯への迷惑電話撃退装置の貸与などを行っている。警察から情報提供があった際には、速やかに市ホームページに掲載し、特に緊急性があるものはSNSで情報発信を行っているほか、高齢者世帯向けにNFTTが提供するナンバーディスプレイ無料サービスを積極的に周知している。今後も警察や他自治体と情報共有を図り、地域でのお声かけが浸透するよう、自治会や高齢者団体等



女性と若者の市内定住につながる取り組みについて



挽野 理恵
(公明党)



Q 大仙市を離れた若者が再び本市に戻り、定住できるためにどのような取り組みをしているか。

た若者が望む企業の進出を促進するため、令和6年度からサテライトオフィスの誘致に取り組む。

このほか、学校における多様性への配慮について質問しました。

A 愛郷心を育む「大仙教育メソッド」に基づくふるさと教育を推進するとともに、地域学校協働活動とコミュニケーション・スクールの一体的な推進を図るほか、企業インターンシップや仙北地域企業説明会を開催するなど、地域の伝統文化や産業、企業など、関心を高める機会の創出に努めている。

定住の重要な要素である仕事や雇用については、女性活躍の推進や働き方改革など、多様な人材が働きやすい職場づくりに取り組む企業を応援するとともに、入社準備に係る費用に対する支援を行っている。また、情報関連産業をはじめとし



移住定住促進課が主催した女性が住みたくなるまちづくりワークショップの様子

総務企画常任委員会行政視察報告

2月19日、茨城県常総市にて、公共施設の管理と活用について視察。複数の公共施設の管理業務をまとめて民間へ委託する「公共施設包括管理業務委託」を用い、施設管理の質向上と市職員の業務負担低減を実現していました。また、公共施設を民間事業者にお試しで貸し出す「トライアル・サウンディング」を行い、市場性やニーズ等を確認することで、効果的な利活用につなげていました。

翌日は、静岡県熱海市にて、地域課題を逆手に取ったまちづくりを視察。熱海銀座は、かつて空き店舗の多さが課題。10年ほど前から空き店舗をリノベーションして飲食店や宿を開業する事業者が現れ、行政もその流れを後押しした結果、今や空き店舗ゼロ。また、市がまちづくり会社に委託し、熱海の課題や将来像をオープンに議論する公開型会議「ATAMI2030会議」を継続開催したことが、創業や移住につながったそうです。両市は上手に民間の力を活用しており、大いに参考になりました。

(総務企画常任委員会)

委員長 佐藤 芳雄 (記)



熱海市での研修



常総市での研修

教育厚生常任委員会行政視察報告

1月9日、静岡県磐田市の「ながふじ学府小中一体校」について視察してまいりました。大仙市においても学校再編は大きな課題であるため、特に、小・中学校の一体校の先進事例として勉強させていただきました。磐田市では中学校区の学校群を「学府」と呼んでおります。小中一貫教育やコミュニティ・スクールの取り組みのさらなる充実・発展、そして、人口減少、教育施設の老朽化などの課題に対応するため、「新カリキュラムをもつ多機能型学校」として令和3年4月に開校しました。

「小中一体校」は、学校再編が前提ではなく、これからの学校をどうしていくのがよいかを地域住民、保護者などが一緒になって協議を重ね、実現した一体校であり、協議の積み重ねの必要性や地域の理解を得ることの重要性を実感したところでありました。

(教育厚生常任委員会)

委員長 山谷 喜元 (記)



磐田市での研修



産業建設常任委員会行政視察報告

1月22日～24日、静岡県において行政視察を行いました。

初日は「ふくろい遠州の花火」で有名な袋井市を訪問。コロナ禍以前は年間400万人以上の観光客が訪問しており、どのような観光施策を展開しているか伺いました。稼ぐ観光を目指し、ICT技術を活用した情報収集力の強化や、SNS等での発信を強化する取り組みをされていました。

翌日は「御前崎市リターン就職応援プロジェクト制度」について伺いました。企業と若者をつなぐため「企業と若者の交流事業」や就職応援情報サイトでの企業情報やセミナー等の情報発信、また「リターン就職応援助成金制度」では、市内または近隣の企業に就職すると、提携銀行から借りた教育資金「御前崎市リターン就職応援ローン」の支払利息や元金分を、お祝い金として受け取れる取り組みもされていました。

大変参考になり、当市においても企業の魅力向上や人口減対策として、新卒者の地元定着と移住者の拡大推進を進めてまいります。

（産業建設常任委員会

委員長 挽野 利恵 記）



御前崎市での研修



袋井市での研修

議会運営委員会行政視察報告

2月13日、伊勢市の議会ツアーおよび高校生議会について研修。議会ツアーは、議会を知ってもらう契機とするために実施しており、令和5年度には、市内の小学校10校の生徒（6年生）が参加し、議会の仕組みを学んでいました。参加した生徒の感想としては肯定的な感想が多く、議会を知ってもらう契機となっていることが伺えました。また、高校生議会は主権者教育の一環として開催されており、市内の高等学校を対象に2～3人を1グループとして実施。現在の疑問点や今後望むことについて取り上げてもうらう形となっていました。参加者アンケートでは、「市のいろいろな問題が知れた」等、また、参加したことについては、「これからの自分につながっていく、貴重な時間を過ごすことができた」等、肯定的な声が多く、政治に関心を深める機会となることが伺えました。

このほか、東海市の議会基本条例の検証および議会BCPについて研修しましたが、紙幅の都合上割愛します。

（議会運営委員会

委員長 秩父 博樹 記）



伊勢市での研修



東海市での研修

きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



いとう ゆずか 伊藤 柚花 さん (神岡小学校6年)

■小さい頃から絵を描くのが大好きです。うまく描けない所があると、自分で調べて練習します。イメージ通りに描けるとすごく嬉しいです。■もうすぐ修学旅行なので、同級生たちと岩手や宮城に行くことが今から楽しみです。■将来は、人の役に立つ仕事がしたいです。困っている人を見かけると何かしてあげたいのですが、その気持ちと働くことが結びついたきっかけは、学校の図書室にあった伝記シリーズを読んだことです。夢中になって繰り返し3周読み、何冊かは購入もしました。最も感銘を受けたのはナイチンゲールです。■父が仕事でいろいろな人の役に立っている姿や、母が家族を温かく支えてくれている姿を間近で見て育ったので、私も何か直接、人と接してその方に立てる仕事がしたいです。

6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
		本会議 議案等上程				
2	3	4	5	6	7	8
				本会議 一般質問	本会議 一般質問	
9	10	11	12	13	14	15
	各常任委員会審査					
16	17	18	19	20	21	22
		本会議 委員長報告等				

※定例会日程は変更される場合があります。
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②FAX ・番号：0187-62-8822 (議会事務局専用)
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメールを作成いただけます。



議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、大仙市役所3階議会事務局窓口までお越しください。

請願・陳情について

6月定例会で審査される請願・陳情は、5月17日(金)までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

編集後記

委員

安達 成年

■新年度がスタートしました。「出会いの春」「希望の春」の言葉がぴったりのわくわく感、高揚感が湧いてくる季節です。ふるさと大仙を離れて、新しい場所で活躍する方々に、「がんばれ」そして「いつか大仙に戻ってきてください」とエールを送りたくなるのは私だけでしょうか。■令和6年度で大仙市誕生20周年を迎えます。私たち市議会は市民の皆さまにどう映っていますか。これまでの市政に対する取り組みに満足していただいているのでしょうか。私たちは、常に自問自答を繰り返しながら日々活動しております。■さて、市民の皆さまとの貴重な意見交換の場として、今年度も「市政懇談会」を開催いたします。市民お一人お一人のご意見が課題解決につながり、さらには大仙市の発展へとつながるものであると思いますので、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

FacebookとInstagramで議会の情報を発信しています



Facebook



Instagram